

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 058	提案機関名 神奈川県 畜産課
要望問題名 採卵鶏の国産エンリッチドケージ飼養による新たな卵質項目を踏まえた生産性の解明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理が求められるようになってきている中、国際獣疫事務局（OIE）では、アニマルウェルフェアに関する勧告がされ、日本においても、「アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理の基本的な考え方について」（平成29年11月15日付け29生畜第794号）が発出され、畜産農家のアニマルウェルフェアに適合した経営が求められている。 採卵鶏における国内の動きとして、アニマルウェルフェアに対応した、国産のエンリッチドケージが開発され、一部農家では導入の動きがある。畜産技術センターにおいても、国産エンリッチドケージによる採卵鶏の飼養管理の違いを明確にした試験が行われ、生産性の検討がされている。 県内の採卵鶏農家はその多くが、直売に取り組んでいるが、消費者が購入する際に意識すると思われる褐色卵における卵殻色や、割卵時の印象に影響を及ぼす肉斑の発生などについて、国産エンリッチドケージ飼養による影響についても明らかにし、これまでの調査項目と合わせた生産性を明らかにしてほしい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 国産エンリッチドケージでの飼養管理技術の確立（平成30年～令和4年度）		
対応の内容等	肉斑は卵殻色素である プロトポルフィリンが器官の組織片に沈着し、濃厚卵白、カラザ、卵黄等に集まったもので、褐色卵で出現頻度が多くなります。肉斑の発生は遺伝的要因が大きいため、エンリッチドケージによる飼養試験では検査項目にしていません。鶏卵の品質向上は重要な課題と考えており、卵殻強度、ハウユニット、卵黄色等の卵質検査は全ての試験で実施しています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	名古屋種における肉斑の遺伝的改良(日本家禽学会, 44: J17-j22, 2007)		